

## 令和5年度 事業報告

令和5年3月に厚生労働省から第8次医療計画策定の基本方針及び作成指針が通知され、新潟県においても令和6年度のスタートに向けて年度当初から地域保健医療計画改定のための検討が開始された。本会では大きな課題となっている薬剤師確保における業態偏在や地域偏在の解消、在宅医療における医薬品等の提供体制構築や薬物療法等に関する情報の多職種での共有・連携、24時間対応体制、ターミナルケアへの関与、災害薬事コーディネーターの養成・設置等、薬剤師・薬局にかかわる施策が確実に反映されるよう、新潟県の各担当課と意見交換を行うとともに、粘り強く薬事政策に関する提言を行った。

また、国を挙げて進められている医療DXにおいては、マイナ保険証の活用による医療情報連携基盤の整備、多職種連携の強化・充実、薬局の業務の効率化と質的向上や医療安全の確保などの課題に対する方策を検討し、会員への働きかけと情報提供に努めた。

昨年10月8日・9日に開催した第63回北陸信越薬剤師大会及び第56回同学術大会は、「もう一度見つめよう！真の薬剤師像」をテーマにハイブリッド方式で開催した。県内外から500名を超える薬剤師の参加があり、成功裡に終えることができた。大会の成功は多くの会員及び地域薬剤師会の理解と協力により成し遂げることができたものであり、これらの経験と成果を糧に、2年後に本県で開催する日本薬剤師会学術大会の成功に繋げる必要がある。

本年1月1日に発生した能登半島地震への対応にあたっては、発災直後に災害対策本部を設置し、県内薬局等の被害状況について情報収集するとともに、被災地の救護所・避難所及び防衛省自衛隊のPFT船舶等における医薬品の供給や健康相談等に対応する支援薬剤師24名を派遣した。また、派遣日程の都合で現地での活動は叶わなかったものの、多くの薬剤師から支援活動への手挙げがあった。これらの経験と活動実績を報告として取りまとめ、今後の災害支援に活かしていく必要がある。

令和6年度に施行される診療（調剤）報酬・介護報酬の改定においては、長引く医薬品の供給不足や物価高騰、賃金上昇等の影響により薬局経営に厳しさが増す中、医療関係職種の処遇改善や入院時食事基準額の引き上げ対応分等を含めて、診療報酬本体では0.88%のプラス改定となり、医科、調剤の配分割合も1:0.3が堅持された。今回の改定では、医薬品の供給拠点としての薬局の体制整備と機能強化、薬剤師・薬局のかかりつけ機能の発揮、医療・介護連携の強化、新興感染症対応のための体制整備などが強く求められる内容となっている。

このような年々高まる薬局・薬剤師への期待と求められる役割を認識し、間近に迫った「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、薬局が調剤のみならず、健康相談等、すべての医薬品の提供施設としての役割を果たす必要があり、かかりつけ薬局・薬剤師としての機能の充実が求められる「患者のための薬局ビジョン」を確実に実現するため、以下のとおり、令和5年度の事業を実施したので報告する。

## 1 組織強化対策

### (1) 会員増強対策の推進(継続)

組織強化の基盤である会員の増加を図るため、研修会や青年部活動等の機会を捉えて主にB会員(管理薬剤師以外の薬剤師)の加入促進に努めた。

### (2) 青年部の活動の活性化(拡充)

① 青年部員の交流等を図るため定例集会を開催した。

② 県薬に対する理解を深めてもらうため「次世代薬剤師ユニゾン」として県薬役員による講演とワークショップを実施した。

③ ビジネスチャット等を活用して薬剤師業務等に関する部員同士の相談できる場を提供した。

④ 若手薬剤師の資質向上を図るための研修会を開催した。

講演 薬剤師がゲートキーパーとして活躍するためのオーバードーズに関する最新の知識

講師 千葉大学大学院 薬学研究院 先端実践薬学講座

実務薬学研究室 助教 永島一輝 氏

⑤ 小学生・中学生を対象とした薬剤師の広報資材等を作成した。

⑥ 各地域における薬物乱用防止普及啓発活動等のイベントへの部員の参画を図るため、各地域へ青年部員名簿を送付した。

⑦ 交流イベント等を開催して、部員、会員の親睦を図った。

⑧ 北陸信越薬剤師大会新潟大会においてブース出展を行うとともに、北陸信越ブロックの若手薬剤師交流会を開催した。

⑨ 活動内容を青年部員に広報するため、SNSを活用した外部広報について検討するとともに、青年部メールマガジンの発信や県薬ホームページにメールマガジンを掲載して広報した。

### (3) 地域薬剤師会事務局の支援(継続)

地域薬剤師会事務局体制に応じた支援策を講じて、地域薬剤師会活動の充実・強化に努めた。

### (4) 事務局機能の強化(継続)

① 複雑・多様化する業務に対応するため事務局の業務分担の見直し等により体制強化を図った。

② 人材育成のため職員研修の充実を図った。

## 2 災害及び感染症対策

### (1) 災害対策にかかる整備及び啓発(継続)

① 平時の防災対策、災害時の対応、災害医療の制度等について、新潟県病院薬剤師会

が主催し、本会及び新潟大学医学部災害医療教育センターとの共催により、新潟県災害薬事研修会を開催した。

テーマ 病院・薬局薬剤師の災害対策の基本

講演 新潟県の災害医療体制及び薬事に関する体制について

講師 新潟県福祉保健部地域医療政策課 羽入晋太郎 氏

グループワーク 災害時に活かせるBCP・災害マニュアルにするために

講師 藤田医科大学、新潟大学医学部災害医療教育センター 和泉邦彦 氏

- ② 本会と地域薬剤師会が連携して活動できるよう会議等を開催し、防災対策及び災害時の対応等について情報交換、情報収集を行った。
- ③ 「災害対策マニュアル」に則り、災害発生時の情報伝達体制の確立と発生時の初期対応の確認等を目的とした訓練を実施した。
- ④ 災害発生時に県薬会館における災害対策本部の設置や感染症対策に必要な備品等を整備した。

## (2) 行政等との連携協力体制の整備(拡充)

- ① 新潟県災害医療連絡協議会への参画等により、行政及び他団体との連携体制の推進を図るとともに、新潟県災害医療政策担当課と災害薬事コーディネーター設置に向けた打合せを行った。
- ② 新潟県が行う安定ヨウ素剤の事前配布計画の策定に参画するとともに、地域薬剤師会と連携して薬局での事前配布等に協力した。
- ③ 新潟県等が開催する災害・感染症対策関連の会議に出席し、意見交換や情報収集を行った。

## (3) 災害時の救援活動等への協力・対応(拡充)

- ① 災害時等におけるチーム医療への薬剤師の積極的な参加について、三師会連絡協議会において医師会及び歯科医師会と意見交換を行った。
- ② 日薬の「災害対策全国担当者会議」に出席した。
- ③ 令和6年1月1日に発生した能登半島地震に対応するため災害対策本部を設置し、県内薬局等の被害状況について情報収集するとともに、災害支援等について協議し、必要な措置を講じた。また、初期対応を協議するため災害対策担当役員会議を開催して、情報収集と対応策について協議した。
- ④ 日本薬剤師会及び石川県薬剤師会からの要請を受けて、被災地の救護所及び避難所における医薬品の供給支援にあたる災害支援薬剤師12名を派遣した。
- ⑤ 防衛省からの依頼を受けた厚生労働省からの要請により、石川県七尾港に停泊する防衛省自衛隊PFT船舶におけるOTC提供及び健康相談等に対応する薬剤師12名を派遣した。
- ⑥ 日薬の「感染対策に関する指針・研修プログラムに係る試行的なオンライン研修」に参加した。

(4) 新型コロナウイルス感染症への対応(継続)

新型コロナウイルス感染症等対策について、行政、三師会及び日薬と連携を図り、情報収集を行うとともに、会員への情報提供に努めた。

### 3 試験検査の実施

(1) 委託検査等の実施(継続)

試験検査委託契約を結ぶ施設を対象とした医療用医薬品や一般用医薬品、薬局製剤の計画的試験検査を実施した。

(2) 依頼検査等の実施(継続)

薬局等からの医薬品検査等の依頼に応じて試験検査を実施した。

(3) 研修会等への参加(継続)

日薬の「試験検査センター連絡協議会・技術研修会」に参加した。

(4) 試薬の販売(継続)

学校給食衛生管理定期検査で使用する食器の残留物検査用試薬を調製し、学校及び学校薬剤師等へ販売した。

### 4 医療・介護保険制度への対応

(1) 保険薬局研修会の開催(継続)

保険薬局を対象に研修会の開催を予定したが、診療(調剤)報酬・介護報酬の改定が令和6年6月施行とされたため、研修会の開催を次年度に延期した。

(2) 集団指導、個別指導への立会い(継続)

関東信越厚生局及び新潟県との保険薬局指導に立会い、当該指導の円滑な実施と薬局の適正な保険請求事務の推進に努めた。また、関東信越厚生局新潟事務所と保険薬局指導計画に係る打合せ会を開催し、意見交換等を行った。

(3) 「保険薬局だより」の作成(継続)

保険調剤に関する通知等の情報について、会誌「ジャーニファ」等に掲載して会員へ周知した。

(4) 10都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会への参加(継続)

関東信越厚生局管内の各都県における調剤報酬請求に関する審査の状況等について意見交換を行った。

(5) 社保・国保・新潟県薬剤師会による調剤報酬審査に係る情報交換会の開催(継続)

適正な保険請求を推進するため、社保・国保のレセプト審査委員及び本会担当役員で情報交換を行って両審査会間の整合を図り、審査情報等を会員へ「保険薬局だより」等にて周知した。

(6) 調剤報酬改定等説明会への参加(隔年)

日薬の「令和6年度調査報酬改定等説明会」に出席した。

## 5 薬局のかかりつけ機能の強化推進

(1) かかりつけ機能強化に向けた薬剤師研修事業の実施と研修効果の向上(拡充)

薬局のかかりつけ機能強化に向け、以下の研修事業等を実施した。

- ① 無菌調剤に係る基礎研修会(e-ラーニング研修及びWeb研修)
  - 講演 薬局における無菌調剤の必要性と無菌調剤に係る手続き
  - 講師 新潟県薬剤師会 常務理事 五十嵐央 氏
  - 講演 無菌調剤に関わる消毒と調剤手技
  - 講師 新潟県薬剤師会在宅医療委員会 本部委員 竹野敏彦 氏
  - 講演 在宅医療における栄養・輸液製剤について
  - 講師 新潟県薬剤師会 常務理事 宮川哲也 氏
- ② 無菌調剤室における実技研修(集合研修)
- ③ 薬学的アセスメントの基礎研修(e-ラーニング研修)
- ④ 情報提供・処方提案スキルアップ研修会(Web研修)
  - 講師・進行 新潟県薬剤師会 常務理事 渡部学 氏
  - 症例1 減薬を希望する患者への対応
  - 症例2 処方整理を希望する患者への対応
  - 症例3 薬剤管理サマリーを持ち来局した患者への対応
- ⑤ すべての薬剤師に知ってほしい「妊娠・授乳と薬」研修会(e-ラーニング研修)
  - 講演 薬剤と妊娠・母乳 —メリットとデメリット—
  - 講師 新潟市民病院 産科・婦人科 田村正毅 氏
  - 講演 地域女性の「妊娠・授乳と薬」の悩みに対して支援のできる薬剤師になるために
  - 講師 新潟県薬剤師会 常務理事 大黒幸恵 氏
- ⑥ 「妊娠・授乳と薬」相談対応 実践研修会(Web研修)
  - 講演 当院における妊婦・授乳婦への薬相談対応
  - 講師 新潟大学医歯学総合病院 薬剤部 新木貴大 氏
  - グループワーク 相談対応の実践
  - 進行 新潟県薬剤師会 常務理事 大黒幸恵 氏
  - 講師 新潟大学医歯学総合病院 薬剤部 新木貴大 氏
- ⑦ デジタル時代の薬局セミナー「薬剤師のための医療DX対応策」(Web研修及びオンデマンド配信)

講 演 医療DXの進捗  
講 師 新潟県薬剤師会 副会長 宮川哲也 氏  
講 演 薬局におけるサイバーセキュリティ対策について  
講 師 新潟県感染症対策・薬務課 薬事指導係 長谷川恵一 氏  
講 演 電子処方箋への対応  
講 師 新潟県薬剤師会 ICTプロジェクト 本部委員 谷口弘明 氏  
講 演 オンライン服薬指導への対応  
講 師 新潟県薬剤師会 常務理事 長澤貴明 氏  
講 演 電子お薬手帳への対応・マイナ保険証の利用促進  
講 師 新潟県薬剤師会 理事 相澤宗一郎 氏

⑧ モデル地域における「薬薬連携に係る情報交換会」

説 明 薬薬連携により実現する医療の質的向上について  
講 師 新潟県薬剤師会 副会長 宮川哲也 氏  
報 告 当該地域の薬薬連携の現状について  
講 師 新潟県薬剤師会 常務理事 長澤貴明 氏  
グループ討議 薬薬連携をより強化するには？  
進 行 新潟県薬剤師会 常務理事 渡部学 氏

(2) 医薬品等の供給拠点としての体制を整備するための研修事業の実施(継続)

医薬品等の供給拠点としての体制を整備するため、以下の研修事業を実施した。

① オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に係る研修会(オンデマンド研修)

講 演 オンライン診療の適切な実施に関する指針と緊急避妊薬の調剤について  
講 師 日本薬剤師会 常務理事 豊見敦 氏  
講 演 オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点  
1) 緊急避妊  
講 師 日本婦人科医会 宮国泰香 氏  
2) 月経と月経異常および性周期のホルモン調節機序  
講 師 日本婦人科医会 安達知子 氏  
3) OC全般と避妊法  
講 師 日本婦人科医会 安達知子 氏  
講 演 オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について  
1) 薬局での調剤の手順について  
講 師 日本薬剤師会 理事 亀井美和子 氏  
2) 患者対応等について  
講 師 日本女性薬剤師会 副会長 小宮山貴子 氏

② 健康サポートのための多職種連携研修会(研修会A)(ハイブリッド型研修及びWeb研修)

第1部 健康サポート薬局の基本理念

講演 健康サポート薬局の基本理念(DVD講義)

講師 日本薬剤師会 会長 山本信夫 氏

日本薬剤師会 副会長 田尻泰典 氏

講演 健康サポート薬局の理念:地域包括ケアシステムに対応した薬局・薬剤師  
「新潟県における健康サポート薬局の姿」

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 長澤貴明 氏

新潟県薬剤師会 医薬分業・在宅医療委員会 本部委員 藤田清貴 氏

グループ討議 薬局が地域の資源とどのように繋がるか

進行 新潟県薬剤師会 理事 清水真由子 氏

## 第2部 当該地域の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源と健康サポート薬局の連携

講演 「健康立県」の実現を目指して ―新潟県の健康施策について―

講師 新潟県福祉保健部健康づくり支援課 健康立県推進班 高木不退 氏

他職種等の取り組みについて ―健康サポート薬局との連携を探る―

講演 (公社)新潟県栄養士会の取り組みと薬剤師との連携について

講師 新潟県栄養士会 栄養ケア・ステーション 管理栄養士 加藤真弓 氏

講演 成年後見制度について

講師 新潟市社会福祉協議会 地域福祉課権利擁護推進係

新潟市成年後見支援センター 石本裕樹 氏

講演 新潟県における医療・保健・健康・介護・福祉等の資源について

講師 新潟県薬剤師会 常務理事 長澤貴明 氏

## 第3部 地域包括ケアシステムの中で健康サポート薬局としての役割を發揮するための

各職種・機関との連携による対応等に関する演習

グループ討議 ケーススタディ

進行 新潟県薬剤師会 理事 清水真由子 氏

## 第4部 私たちの目指す健康サポート薬局の姿

グループ討議 健康サポート薬局として今私たちに何ができるか

進行 新潟県薬剤師会 理事 清水真由子 氏

### ③ 薬剤師のための認知症対応力向上研修会(eラーニング研修)

講演 かかりつけ薬剤師の役割

講師 新潟県薬剤師会 研修担当講師 本間雅克 氏

講演 認知症の基本

講師 有田病院 認知症疾患医療センター 有田正知 氏

講演 薬局業務における実践

講師 新潟県薬剤師会 理事 吉田智彰 氏

講演 地域・生活における実践

講師 新潟県福祉保健部 高齢福祉保健課 山田知佳 氏

### ④ 高度管理医療機器販売等に係る継続研修会(オンデマンド研修)

講演 医薬品医療機器等法の概要および改正

講師 (公財)医療機器センター 常務理事 新見裕一 氏  
講演 医療機器の品質管理  
講師 (一社)日本医療機器産業連合会 販売・保守委員会委員 浦富恵輔 氏  
講演 医療機器の不具合報告及び回収報告  
講師 (一社)日本医療機器産業連合会 PMS委員会委員 三田哲也 氏  
講演 医療機器の情報提供および薬剤師が知っておきたい機器等の話題  
講師 (公財)医療機器センター医療機器産業研究所 主任研究員 本田大輔 氏

(3) かかりつけ機能強化、対人業務の充実に向けた薬局に対する周知・啓発 (**拡充**)

- ① 薬局薬剤師による医師等への情報提供・処方提案等の推進のため、「トレーシングレポートに関する事例集」を作成、公表した。
- ② 「薬と健康の週間」に係る啓発資料を送付して会員薬局等への広報を行った。また、服薬フォローアップ強化月間として、全保険薬局に実施強化を呼びかけた。
- ③ 薬局業務の現状と今後の意向について把握するため、薬局の業務に関するアンケート調査を実施した。
- ④ 妊娠と授乳のくすり相談対応薬局における相談応需状況を把握するため、実態調査を実施した。

(4) 医療安全対策に係る研修の開催(継続)

県病薬と共催し安全管理責任者の任務と医療安全をテーマとして「リスクマネジメント研修会」を開催した。(ハイブリッド型研修及びeラーニング研修)

講演 やさしくわかる周術期患者の薬物治療管理

講師 広島大学病院 薬剤部 副薬剤部長 柴田ゆうか 氏

ディスカッション 病院・薬局で必要な服薬フォローアップと、周術期患者への活用  
進行 新潟南病院 薬剤部長 渡部学 氏

## 6 地域包括ケアシステムにおける医薬品提供体制等の整備

(1) 地域包括ケアシステムの体制整備に向けた多職種連携、薬局の役割の啓発 (**拡充**)

- ① 薬剤師の職能・訪問業務に関する多職種の理解を図る、「おくすり相談会」への薬剤師派遣に向けてチラシを作成して周知したが、薬剤師派遣の依頼がなかった。
- ② 県内の薬局の在宅医療の推進、無菌調剤等応需体制の整備に向け、地域薬剤師会担当者を対象とした会議を開催した。

(2) 介護予防等の地域活動の推進、支援(継続)

- ① 「介護予防のための地域ケア個別会議」に参画する新任助言者を開催した。(Web研修)
- ② 新任助言者の育成・支援を行うため、「介護予防のための地域ケア個別会議」へ見学者を派遣した。
- ③ 薬剤師の助言者の資質向上に向け、「薬剤師助言者のための情報交換会」開催した。



(3) 在宅医療に関わる薬局の体制強化(継続)

- ① 日本在宅医療連合学会大会へ参画した。
- ② 在宅医療に関わる多職種から成る「在宅ケアを考える集いin越後」に実行委員を派遣し、集い開催に参画した。

(4) 地域薬学ケア専門薬剤師制度に係る研修調整(継続)

専門医療機関連携薬局の推進のため、県内病院に対し研修の受入を呼びかけた。

## 7 薬剤師養成のための薬学教育への対応

(1) 実務実習受入体制の整備と指導薬剤師の資質向上(継続)

- ① 関東地区調整機構からの依頼により、実務実習受入表明薬局と薬学生とのマッチングを行った。
- ② 認定実務実習指導薬剤師を養成するためにワークショップを開催した。
- ③ 認定実務実習指導薬剤師を対象とした養成・更新講習会を開催した。

講演 薬剤師の理念(DVD講義)

講師 関東地区調整機構 小佐野博史 氏

講演 薬学教育モデル・コアカリキュラム

講師 関東地区調整機構 小佐野博史 氏

講演 法的問題(DVD講義)

講師 関東地区調整機構 山田純一 氏

講演 改訂薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠した病院実習(DVD講義)

講師 関東地区調整機構 山田純一 氏

講演 OBEに基づいた薬局実務実習の進め方

講師 関東地区調整機構 山田純一 氏

講演 薬学実務実習に関するガイドライン

講師 関東地区調整機構 小佐野博史 氏

- ④ 実務実習の質の向上を目指し、認定実務実習指導薬剤師を対象としたアドバンストワークショップを開催した。

特別講演 学生により質の高い臨床経験を豊富に積ませるために必要なこと

講師 関東地区調整機構 委員長 中村智徳 氏

グループワーク 学生により質の高い臨床経験を豊富に積ませるために必要なこと

進行 新潟県薬剤師会 常務理事 渡部学 氏

- ⑤ 実務実習生受入れの環境整備における課題を把握し、質の向上を目指すため、実務実習を充実させるための取組みや指導のための情報収集等に関する現状を調査した。

- ⑥ 実習の質の向上を目的として、各地域での実務実習における薬局－病院間の連携を深め、相互の実習内容など情報共有するために、県薬・県病薬の共催により薬局・病院連携懇談会を開催した。

報告 学生により質の高い臨床経験を豊富に積ませるために必要なこと

新潟県薬剤師会による薬学生実務実習の充実を図るための調査  
報告者 新潟県薬剤師会 常務理事 吉田智彰 氏

- ⑦ 関東地区調整機構の総会及び日薬の指導薬剤師養成小委員会に出席した。

## 8 地域保健対策の推進

### (1) 薬事啓発事業の推進(拡充)

- ① 地域の健康維持と保健衛生の向上に資するため、新潟県からの補助事業として「県民のための薬のセミナー」を開催するとともに、主催者を対象にニーズの把握及び事業評価を行うためのアンケートを実施した。
- ② 「県民のための薬のセミナー」において県民への薬事啓発に資する広報チラシ等を作成して提供した。
- ③ 薬事衛生指導員のスキルアップを目的とした意見交換会を開催した。  
講 演 県民のための薬のセミナー事業について  
講 師 新潟県薬剤師会 副会長 市橋直子 氏  
講 演 わたしのおくすりセミナー  
講 師 新潟県薬剤師会 地域保健委員会 本部委員 小出和美 氏
- ④ 地域薬剤師会や薬事衛生指導員の協力を得て、関連団体が主催するイベント等において県民向けセミナーやブース出展等により、医薬品の適正使用や薬剤師の職能について県民への啓発を行った。
- ⑤ ジェネリック医薬品について県民へ正しい知識の普及啓発を図るため、テレビコマーシャルを作成し放映した。
- ⑥ お薬手帳、訪問薬剤管理指導、かかりつけ薬局・薬剤師、健康サポート薬局等について資料を活用して、県民への啓発を目的に薬のセミナーやイベント等においてチラシ・啓発物品を配布した。

### (2) 薬物乱用防止事業の推進(継続)

麻薬・覚せい剤等の薬物乱用防止及び医薬品の正しい知識の啓発・普及を目的に、薬のセミナーやイベント等においてリーフレットの配布を行った。

### (3) 自殺予防対策の推進(継続)

- ① ゲートキーパーとしての薬剤師の意識向上や実践的なスキル習得を図り、自殺予防対策にかかる適切な対応を行う人材を養成するため研修会を開催した。  
講 演 手作りピザでみんな笑顔に！ 私たちの楽しくユニークな依存症支援  
講 師 さいがた医療センター アディクション(依存症)診療部門  
Sai-DAT 薬剤師 浅見友美子 氏、看護師 村山裕子 氏  
講 演 依存症者の自殺を防ぐには(当事者の立場から)  
講 師 公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会 代表 田中紀子 氏  
講 演 自殺予防ゲートキーパーワークショップ振り返りと県薬の取り組み

講 師 自殺危機初期介入スキル研究会 認定講師

新潟県薬剤師会 地域保健委員会 本部委員 今井理央子 氏

パネルディスカッション

座 長 自殺危機初期介入スキル研究会認定講師

株式会社ユニスマイル 向井勉 氏

- ② 薬剤師のゲートキーパー養成のため、ワークショップの講師との意見交換会を书面会議で実施した。

#### (4) 禁煙対策の推進(継続)

地域で開催するイベント等で禁煙支援についての啓発資材を配布して県民への広報・啓発を図った。

### 9 ドーピング防止対策の推進

#### (1) ドーピング防止に関する啓発・広報活動の推進(継続)

- ① 新潟県スポーツ協会と連携し、第44回北信越国民体育大会においてスポーツファーマシストによるドーピング防止活動を実施した。

- ② 日本スポーツ協会公認コーチ1(軟式野球)養成講習会へ講師を派遣した。

講 演 アンチ・ドーピング

講 師 新潟県薬剤師会 副会長 松島邦明 氏

### 10 医薬品販売制度への対応

#### (1) セルフメディケーション推進に関する啓発活動の推進(継続)

健康サポートのための薬剤師の対応研修会(研修会B)を開催した。

講 演 薬局・薬剤師を巡る現状と健康サポート薬局

講 師 新潟県薬剤師会 理事 相澤宗一郎 氏

演 習 薬局利用者の状態把握と販売時と販売後の対応(演習)

進 行 新潟県薬剤師会 常務理事 大黒幸恵 氏

#### (2) 医薬品販売制度への対応(継続)

- ① 全ての薬局等における医薬品販売制度の法令遵守の徹底に向け、日本薬剤師会が実施する自己点検に協力して実施し、会員薬局に法令遵守を啓発した。

- ② 新潟県医薬品登録販売者協会と共催して登録販売者研修会を開催し、講師を派遣した。

第2回研修会

講 演 妊娠・授乳と薬

講 師 新潟県薬剤師会 常務理事 大黒幸恵 氏

第3回研修会

講 演 医薬品と健康食品の相互作用について

講 師 新潟県薬剤師会 副会長 松島邦明 氏

## 11 医療DXへの対応

### (1) 医療DXの促進及びICTの活用(新規)

- ① オンライン資格確認や電子処方箋、オンライン服薬指導等に関する会員への情報提供により、医療DXへの対応を図った。
- ② 日薬研修プラットフォームを導入により薬剤師の自己研鑽を支援し、資質向上を図った。

## 12 電話相談事業の推進

### (1) 電話相談の対応(継続)

新潟県から「薬事啓発事業」の補助を受け、フリーダイヤルを活用した県民からの薬に関する電話相談に応じた。

## 13 学術研修・生涯教育の充実

### (1) 学術研修の支援(継続)

会員の研究発表を支援するため、新潟県病院薬剤師会及び新潟薬科大学との共催により新潟薬学会を開催した。

・第167回新潟薬学会(ハイブリッド型研修)

一般演題 4題

学生演題 2題

特別講演 向精神薬の副作用管理における薬剤師と精神科医の連携について

講 師 医療法人敬愛会 末広橋病院 理事長

新潟大学医歯学総合病院 精神科 非常勤講師 鈴木雄太郎 氏

### (2) 薬剤師生涯学習関連事業の推進(継続)

- ① 効果的な薬剤師の生涯学習を推進するために、地域薬剤師会と連携して会員の生涯学習の環境整備を図った。
- ② 他団体と共催して研修会を開催するとともに、他団体が主催する研修会等を後援して、会員の生涯教育の充実を図った。

## 14 広報・情報活動の推進

### (1) 会誌「ジャニファ」の定期刊行(継続)

- ① 会誌「ジャニファ」を年4回発行して、会員の学術的研鑽や会員の交流の場等になるよう寄稿を積極的に働きかけ、掲載内容の充実に努めた。また、県薬事業の広報強化、会員への情報提供を図った。
- ② 会員の利便性と刊行の効率性向上を目的に、会誌「ジャニファ」の電子書籍化を実施した。

(2) 県薬ホームページの管理(拡充)

新潟県薬剤師会に関する情報発信のためホームページをリニューアルして管理及び内容の充実を図るとともに、電子書籍化した会誌「ジャンファ」をホームページ上で閲覧できるようにした。

(3) 薬事情報に関する研修会への参加(継続)

日薬が主催する研修プラットフォーム全国説明会(Web説明会)及び薬事情報センター実務担当者等研修会(Web研修)に出席した。また、感染対策に関する指針・研修プログラム(Web研修)に参加した。

(4) メールニュースの配信(継続)

メールニュースの配信により、会員への即時性のある情報提供に努めた。

## 15 学術研究倫理審査への対応

(1) 学術研究倫理審査の実施(継続)

人を対象とする生命科学・医学系研究を倫理的及び科学的観点から、会員等より申請のあった学術研究について倫理審査を実施した。

(2) 研究倫理に関する研修等の支援(継続)

① 研究倫理に関する研究者向けの研修会を開催した。(Web研修)

講演 新潟県薬剤師会学術倫理審査委員会の審査申請等について

講師 学術研究倫理審査委員会事務局

講演 薬剤師の臨床研究と倫理指針について

講師 横浜薬科大学臨床薬学科 レギュラトリーサイエンス研究室

実務実習センター 准教授 田口真穂 氏

② 日薬が主催する研究推進に関する全国会議(Web会議)に出席した。

## 16 部会活動の推進

(1) 学校薬剤師部会(継続)

① 新潟県学校薬剤師会との共催により、くすり・健康教育研修会を開催した。(ハイブリッド型研修)

講演 第6次薬物乱用防止5ヵ年戦略について

講師 新潟県学校薬剤師会 理事 窪田謙一 氏

講演 学校薬剤師が効果的に薬物乱用防止教育を行うために ―お薦めの教育戦略と必要な情報提供―

講師 新潟薬科大学薬学部 薬品物理化学研究室 助教 城田起郎 氏

② 新潟県学校薬剤師会との共催により、学校薬剤師研修会を開催した。(ハイブリッド型研修)

- 講演 学校における飲料水・雑用水の管理について  
講師 新潟県学校薬剤師会 理事 赤塚将来 氏  
講演 学校プールの管理について  
講師 新潟県学校薬剤師会 理事 川上賢介 氏  
講演 学校環境衛生に係る諸課題について  
講師 新潟県学校薬剤師会 理事 五十嵐真紀 氏  
講演 令和6年度学校環境衛生定期検査票の改訂について  
講師 新潟県学校薬剤師会 常務理事 土田道子 氏

## (2) 病院・診療所部会(継続)

- ① 新潟県病院薬剤師会との共催により、中小・療養病院の薬剤師が考えるべき業務に関する研修会を開催した。

話題提供 日本病院薬剤師会 中小病院委員会・療養病床委員会合同担当者会議報告

講師 日本病院薬剤師会 療養病床担当者 室岡直子 氏

特別講演1 どうするん？人の確保と新人教育

講師 日本病院薬剤師会 中小病院委員会 委員

村田病院 薬剤課長 上野山周雄 氏

特別講演2 そして、私たちは地域の人々を守るSUNGされる薬剤師を目指す

講師 日本病院薬剤師会 療養病床委員会 委員

育和会記念病院 薬剤部長 久岡清子 氏

- ② 県薬から配信されるメールニュースの中から、病院薬剤師に関連する通知等について、新潟県病院薬剤師会会員施設へ配信した。

## (3) 卸勤務薬剤師部会(継続)

新潟県卸勤務薬剤師会が主催する研修会への参加について部会員へ広報した。

### 研修会1

講演 持続性GIP/GLP-1受容体作動薬チルゼパチド(マンジャロ皮下注)の製品概要と新たな治療選択の位置付け

講演 筋委縮性側索硬化症(ALS)における機能障害の進行抑制製剤エダラボン(ラジカット内用懸濁液)の製品概要と臨床応用について

講演 最近の薬事監視指導行政について

### 研修会2

講演 世界発のヒト化抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体製剤ミリキズマブ(オンボー皮下注/点滴静注)の製品概要と潰瘍性大腸炎の新たな治療選択について

講演 肺動脈性肺高血圧症の吸入製剤トレプロスチニル(トレプロスト吸入液)の製品概要と患者QOL向上への期待

講演 TDDS製剤の特徴と最新の話題 ―オキシブチニン塩酸塩を応用した2つの製剤について

令和5年度卸勤務薬剤師会研修

研修会3

講演 注目のがん治療 ―免疫チェックポイント阻害薬の新たなステージへー(イミフィジン+イジユドおよび白金製剤をプラスした2剤、3剤併用療法での国際共同第Ⅲ相試験より)

講演 新潟県内における検挙の状況と対策

## 17 三師会等関係団体との連携

### (1) 三師会との連携(継続)

新潟県における医療、保健、福祉の向上に寄与するため、新潟県三師会連絡協議会を通じて連携強化を図った。

### (2) 新潟県民医療推進協議会との連携(継続)

- ① 新潟県民の健康の増進と福祉の向上を図るため、新潟県における医療・介護・保健及び福祉行政の拡充強化をめざして、三師会等関係団体で構成する新潟県民医療推進協議会に参画して連携を強化した。
- ② 新潟県民医療推進協議会が主催する一般県民・多職種等と対象とした「健康寿命延伸フォーラム」に参加した。

### (3) その他の関係団体との連携(継続)

- ① 公益財団法人新潟県健康づくり財団に参画した。
- ② 新潟県糖尿病対策推進会議に参画した。
- ③ 新潟県自殺予防対策推進県民会議に参画した。
- ④ 新潟県歯科保健協会に参画した。
- ⑤ 新潟県小児保健研究会に参画した。
- ⑥ 新潟母性衛生学会に参画した。
- ⑦ 新潟栄養・食生活学会に参画した。
- ⑧ NPO法人新潟難病支援ネットワークに参画した。
- ⑨ 公益財団法人新潟県臓器移植推進団体に参画した。
- ⑩ 新潟県交通安全対策連絡協議会に参画した。
- ⑪ 新潟県介護支援専門員協会に参画した。
- ⑫ 新潟県地域包括ケア支援専門職協議会に参画した。
- ⑬ その他関係団体との連携を強化した。

## 18 北陸信越ブロック薬剤師会との連携

### (1) 北陸信越ブロック連絡協議会との連携(継続)

北陸信越ブロック連絡協議会に出席して、北陸信越ブロックの各薬剤師会と連携を図り、情報交換に努めた。

(2) 日薬(北陸信越)ブロック会議への参加(継続)

日薬(北陸信越)ブロック会議に出席して、日薬事業の確認とブロック内の情報交換・意見交換を行った。

## 19 薬剤師学術大会への対応

(1) 日本薬剤師学術大会への対応(拡充)

- ① 日本薬剤師学術大会へ役員及び事務局職員を派遣するとともに、参加報告等を会誌「ジャーナル」に掲載して広報に努めた。
- ② 令和8年度の新潟大会開催に向けて、日薬が主催する「学術大会に関する打合せ」に役員及び事務局職員がオブザーバー参加して情報収集に努めたとともに、大会運営委員会の立ち上げ等について協議した。

(2) 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会への対応(拡充)

- ① 北陸信越薬剤師会と共催して第63回北陸信越薬剤師大会及び第56回北陸信越薬剤師学術大会をハイブリッド方式で開催した。

期 日 令和5年10月8日(日)～9日(月・祝)

会 場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

テーマ もう一度見つめよう！真の薬剤師像

参加者数 528名(参集:423名、Web:105名)

口頭発表 35演題

特別講演 火薬で人々を笑顔にする

講 師 有限会社小千谷煙火興行 代表取締役社長 瀬沼輝明 氏

シンポジウム もう一度見つめよう！真の薬剤師像

座 長 新潟県薬剤師会 副会長 小出智子 氏

教育講演1 地域における医療連携、薬薬連携について

講 師 日本薬剤師会 理事 村杉紀明 氏

教育講演2 第8次医療計画、地域医療構想から、薬剤師が果たしていくべき役割及び今後の地域医療の展開について

講 師 厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬品審査管理課

審査調整官 松下俊介 氏

教育講演3 薬剤師の調査研究、発表の必要性について

講 師 昭和大学藤が丘病院 薬剤部 藤原久登 氏

- ② 北陸信越薬剤師大会及び北陸信越薬剤師学術大会の開催に関する情報を会員へ提供して演題発表等を支援した。